

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
老年看護学/創傷看護学分野
脱水の研究に参加されたみなさまへ

わたしたちの研究室では、2017年に、地域のみなさまにご協力をいただいて脱水の研究を行い、その結果、侵襲のない方法で脱水が判断できることを明らかにしました。そこで、今回、あらたに将来の脱水を予測できないかを検討するため、Artificial Intelligence (AI) というロボット技術を用いてデータを再度分析することにしました。この分析には、東京大学の研究者のほかに、ソフトバンク株式会社の技術者が加わりませんが、みなさまにご協力いただき、集めたデータを新しい方法で分析することになります。研究は東京大学が中心となって行い、個人情報が出ることはありません。また、今後、みなさまにあらためて何かをお尋ねすることはなく、分析には、以前の調査で集めた情報のみを使います。

この研究の対象者に該当する可能性がある方で、2017年の調査情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、2021年7月31日までに、この文書の最後に記載した問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】

AIを活用した在宅高齢者の慢性脱水の同定と予測（審査番号 2021081NI）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は、次のとおりです。

研究機関	国立大学法人 東京大学
研究責任者	真田 弘美 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 老年看護学/創傷看護学分野 教授 東京大学大学院医学系研究科附属グローバルヘルシングリサーチセンター センター長
担当業務	研究の統括

【共同研究機関】

研究機関	ソフトバンク株式会社
研究責任者	久保 渉 ソフトバンク株式会社 テクノロジーユニット AI 戦略室 企画室 担当課長
担当業務	AIによる情報の分析

なお、この研究に利用する情報は、主たる研究機関である東京大学と共同研究機関の範囲のみで利用されます。

【研究期間】

研究期間は、東京大学医学部・医学系研究科倫理委員会による承認日から、2026年4月30日までです。なお、本研究は長期にわたる研究として計画しているため、左記の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行います。

【対象となる方】

2017年7月1日～2017年12月31日のあいだに、ご利用の訪問看護ステーションの看護師を通じて当教室の研究者が調査を依頼し、血圧や体温を測定したり、認知機能の検査をしたり、皮膚にパッチを貼って脱水の状態を調べたり、採血をさせていただいた方。

【研究の意義】

近い将来に脱水になる可能性が予測できれば、脱水にならないようにケアをすることができます。脱水そのものを回避することができれば、脱水による悪影響を防ぐことができ、熱中症になったり、からだが弱ったり、治療中の病気が悪化するのを防ぎ、入院や要介護状態の進行が少なくなると考えています。

【研究の目的】

2017年の脱水の調査で集めた情報を、再度、AIという情報処理技術を使って分析し、脱水の同定と予測が可能かを検証します。

【研究の方法】

●研究の流れ

2021年6月 東京大学医学部の倫理審査
↓
2021年8月初旬 ソフトバンク株式会社との情報の共有
↓
2021年8月 情報の分析（ソフトバンク株式会社、東京大学）
↓
2021年9月 結果の分析とまとめ（東京大学）
↓
2021年10月以降 学会発表や論文による結果の公表（東京大学）

●ソフトバンク株式会社と共有する情報の内容

2017年の調査で収集した情報：

年齢、性別、既往歴、現病歴、薬物療法の内容、要介護度、介護者の有無、利用していた医療・福祉のサービス、認知機能検査の結果、日常生活の自立度、血圧、脈拍、体温、血中の酸素の濃度、身長、体重、腕の脂肪の厚さ、水分摂取量、排便の状況、食事の状況、脱水の症状、皮膚タウリンの濃度、血液検査の結果

なお、新しい分析で使用する情報は、すべて過去の調査の情報で、みなさまにあらたに何かをおたずねしたりすることは、一切ありません。また、お問い合わせがない限り、研究者がみなさまにご連絡することはありません。

●ソフトバンク株式会社との情報共有の目的

東京大学との共同で、過去の調査で集めた情報から脱水を予測することができるかを検討します。

●ソフトバンク株式会社との情報共有の方法

パスワードで保護されたクラウドサービス（インターネットのサービス）を通じて、デジタル形式で情報の受け渡しを行います。その際、個人の特定可能な情報は一切含まれません。

【研究の倫理審査】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。(承認番号*****)

【個人情報の保護】

この研究で使用する情報は、研究の関係者以外に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。解析に使用する情報は、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻老年看護学/創傷看護学と、ソフトバンク株式会社の研究室内で鍵のかかる保管庫で厳重に保管されます。協力研究施設である訪問看護ステーションには、ご協力いただいたみなさまの名前と情報を照合するためのリストが事業所内の鍵のかかる場所に保管されていますが、このリストが解析に使用されることはありません。また、研究の成果は学会発表や学術雑誌等で公表しますが、その際、みなさまの名前等の個人情報が明かされることは一切ありません。

収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、復元不可能な方法でデータを抹消します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについては、お問い合わせがあれば開示いたしますのでご連絡ください。

【情報の二次利用を拒否する権利】

この研究のために過去に収集されたご自身のデータを使用してほしくない場合は、この文書の最後にある連絡先へ、**2021年7月31日までに**、ご連絡ください。情報の利用を断られた場合でも、今後、何らかの不利益が生じることはありません。

なお、ご連絡がなかった場合には、ご了承をいただいたものとさせていただきます。

【特許権等】

本研究の結果として特許権等が生じる可能性があります。その権利は国、研究機関、民間企業を含む共同研究機関及び研究従事者等に属し、研究対象者はこの特許権等を持ちません。また、その特許権等に基づき経済的利益が生じる可能性があります。これについての権利も持ちません。尚、本研究でみなさまへの謝金はございません。

【研究費用と利益相反】

本研究は、ソフトバンク株式会社より研究資金の提供を受けて実施いたします。また、当機構の寄附金によって給与が賄われている研究者が研究分担者として本研究に参画します。これらの状況については東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っており、研究の実施や報告の際にソフトバンク株式会社に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2021年7月1日

【問い合わせ先】 阿部 智子（あべ ともこ）

電話：03-3815-1170

〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル2F

訪問看護ステーションけせら